

試合番号 : 325	試合会場 : トクセイセキュリティ平塚総合体育館	観客数 : 1,520				
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:27	試合時間 : 01:27				
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 桑原 健輔					
NECレッドロケッツ	通算 3勝 2敗 ポイント: 9	25 第1セット 16	0	0	ヴィクトリーナ姫路	通算 1勝 6敗 ポイント: 5
監督コメント 平塚の舞台でホームゲームを開催できたこと、とても嬉しく感じています。サーブとブロックが非常に効果を発揮し、優位にゲームを進めることができました。全員でアグレッシブに攻めることができたので、明日はよりその精度を上げて戦えるように準備していきたいです。昨シーズンからのホームゲームでの連敗を脱することができたのも、応援してくださる皆様のおかげです。明日も熱い応援よろしくお祈りします。	3	25 第2セット 19	0	0	監督コメント 本日も多くの皆様にご観戦ご視聴賜り誠にありがとうございました。ゲーム序盤に自チームのディフェンスが崩れてしまい、攻撃成立機会そのものが少なかった。これでは実力のあるNECさんを脅かすことはできない。明日は、今日とは異なる展開に持ち込めるよう、修正してゲームに臨みたい。	
		25 第3セット 17				
		第4セット				
		第5セット				
要約レポート 開幕戦のホームゲームを勝利できなかったNECレッドロケッツはホームゲーム第2戦にヴィクトリーナ姫路を迎え入れ、ストレートで勝利しホームゲーム初勝利を上げた。第1セット、前半は一進一退が続いたが、中盤以降NECはレシーブでつなぎ得点を重ねた。NEC塚田のトスブレイクで姫路にブロックをしぼらせることなく、NECが先取した。第2セット、姫路はブラクを中心に、NECは古賀を中心に攻撃を決め、中盤まで一進一退が続いた。ここでNEC古賀、山内の攻撃で一歩抜け出す。途中から出場したNEC山田の攻撃で姫路を突き放し連取した。第3セット、なんとかセットを奪いたい姫路はブラク、松本にボールを集め中盤までNECに食らいついた。姫路はブラクのブロックで流れを掴みたいが、NEC古賀の攻撃やブロックに阻まれた。終盤徐々にリードを広げたNECが勝利した。						

試合番号 : 326	試合会場 : 富山県西部体育センター	観客数 : 810				
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:07	試合時間 : 02:07				
主審 : 森口 豊	副審 : 饗庭 和恵					
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 2勝 5敗 ポイント: 5	16 第1セット 25	3	3	久光スプリングス	通算 6勝 1敗 ポイント: 17
監督コメント 久光スプリングスに全員で向かっていきましたが、強固なディフェンスを崩すことができません。重要な場面でもミスが出てしまいました。明日も全員で、攻めの気持ちを忘れず戦います。会場にお越しいただいた皆様、本日はありがとうございました。	1	25 第2セット 23	3	3	監督コメント ゲームの入りの部分で、良いスタートを切れるようにしっかり準備しようと思込込で、試合に臨みました。第1セット・第3セットの入りは良く、自分たちのゲーム展開にもっていくことができました。KUROBEアクアフェアリーズの粘りあるディフェンスに対して、なかなか決定打を作れない場面もありましたが、勝ち切れたことは、素直に喜びたいです。本日もたくさんの応援ありがとうございました。引き続き、応援の程よろしくお祈りします。	
		16 第3セット 25				
		21 第4セット 25				
		第5セット				
要約レポート 現在、首位の久光スプリングスと、9位KUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、序盤、KUROBEのコラムは厳しいマークを受けなかなかスパイクが決まらない。久光が5-5から中島のスパイク、ファンヘックのブロックなどで6連続得点し流れを掴む。久光は、その後も平山、深澤のスパイクなどで得点しこのセットを大差で先取した。第2セット、KUROBEはセッター安田を先発させる。4-5からKUROBE安田のサービスエースに久光のミスも重なり4連続得点しリードするも、すかさず久光も平山、ファンヘックのスパイクなどで4連続得点し追いつき、ここから接戦の展開となる。20-20からKUROBEがコラムのスパイクで4連続得点しセットポイントを取るも、久光もファンヘック、荒木のスパイクで3連続得点し1点差を追いつく。しかし、最後はKUROBEコラムがバックアタックを決めてセットを奪い返した。第3セット、久光が中盤までに3連続得点以上を4度重ね16-6と大きくリードを広げ、このリードを活かしてセットを取った。第4セット、序盤、KUROBEミスが重なり8-12と久光にリードされるも、ここからイヴェギン、コラムのスパイクなどで徐々に差を詰め19-18と逆転する。しかし、久光が19-20から荒木、中島のスパイク、平山のブロックなどで3連続得点を2度重ねセットを取り、試合に勝利した。						

試合番号 : 327	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 455				
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:13	試合時間 : 02:13				
主審 : 津嶋 由香	副審 : 小松 剛					
東レアローズ	通算 6勝 1敗 ポイント: 15	25 第1セット 18	3	3	デンソーエアリービーズ	通算 3勝 4敗 ポイント: 10
監督コメント 金沢でのホームゲーム、沢山のご声援ありがとうございました。第1・2セットは自分たちの持ち味であるサーブで崩し、ブロックとディフェンスで粘り強く拾って攻撃に繋げることができました。第3セット以降、サーブが弱くなりなかなかリズムを掴むことができませんでしたが、最後勝ちきれた事はよかったです。課題をしっかりと分析し明日勝つために準備します。明日も応援よろしくお祈りします。	3	25 第2セット 20	3	3	監督コメント 今日は、アウェーゲームとなりましたが、先週のホームゲームの勢いを今週も出そうと試合に臨みました。序盤はサーブで攻めることはできませんでしたが、なかなかブレイクに繋げられませんでした。第3セットからはディフェンスが機能しだすとチームが勢いづいてセットを取り返すことができました。今日の敗戦を明日に活かしてチームの糧として成長に繋げられるように頑張ります。明日は今日以上にエアリービーズらしい試合を届けられるようにチーム一丸となって頑張ります。今日も熱いご声援ありがとうございました。	
		20 第3セット 25				
		24 第4セット 26				
		15 第5セット 6				
要約レポート お互いに先週からの連勝を続けたい東レアローズとデンソーエアリービーズの一戦。第1セットは、東しが関の2本のサービスエース、大崎のブロックなどで6連続得点を奪うと、デンソーにつけ入る隙を与えず、セットを先取した。第2セットは、デンソーがネリマンの高いスパイクや、中元の鋭いスパイクにより、序盤にリードするが、東しはクランや西川がスパイクを決め逆転すると、最後はレシーブで繋いだボールを石川がスパイクを決めた。第3セットは、デンソーは中元のスパイクや松井のフェイントなど緩急をつけた攻撃。東しは石川やクランを中心とした攻撃によりお互い得点を取り合うシーソーゲームとなった。終盤にデンソーが、ネリマンや横田のブロックにより連続得点を奪うとセットを取り返した。第4セットは、東しがクランの打点の高いスパイク、石川の力強いスパイクで次々と得点を奪うが、デンソーが中元やネリマンのスパイクなどで粘りを見せ、終盤に連続得点を奪い逆転した。第5セットは、東しが序盤からクランの高さを活かしたスパイクやブロックでリードを奪うと、勢いを止めず勝利を決めた。						

試合番号 : 328	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 620				
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:39	試合時間 : 02:39				
主審 : 沢田 元	副審 : 増岡 三佳子					
トヨタ車体クインシーズ	通算 3勝 4敗 ポイント: 7	26 第1セット 28	3	3	JTマーヴェラス	通算 5勝 2敗 ポイント: 14
監督コメント 本日のゲームは、フルセットでの苦しい展開であったが、勝つことが出来て良かった。選手一人ひとりが集中を切らさずに最後まで戦った結果、本当に選手たちが頑張ってくれた。明日も厳しい試合になると思うが、今日の内容を整理し、明日も全力で戦いたいと思います。本日もホームゲームでの応援、ありがとうございます。明日も引き続きよろしくお祈りします。	3	25 第2セット 22	3	3	監督コメント 勢いのあるチームに対して、自分たちのミスでリズムを作ることが出来なかった。一人ひとりがチームのために何をやるのかをコート内で確認し、オフェンス面ですっきりと得点を取っていききたい。本日はありがとうございました。	
		22 第3セット 25				
		25 第4セット 22				
		15 第5セット 12				
要約レポート トヨタ車体クインシーズが、現在2位のJTマーヴェラスをホームに迎える対戦。フルセットの熱戦の末、トヨタ車体が今季ホームでの初勝利を勝ち取った。第1セット、両チームが点を取り合う競った展開。終盤JTのセットポイントからトヨタ車体がハッタヤ、ダニエルの攻撃でデュースとしたが、JTの西川、ロウが攻撃を決めセットを先取した。第2セット、序盤からJTが点差を広げて優位にゲームを進めるが、中盤トヨタ車体のハッタヤ、ダニエルが連続でブロックポイントを決め流れを引き寄せた。勢いに乗ったトヨタ車体はその後逆転し、最後はダニエルが難しいトスのからの攻撃を決めてセットを取り返した。第3セット、JTは出だしから西川が2本連続でダニエルの攻撃をブロックし、トヨタ車体の第2セットからの勢いを止めにかかる。その後お互いに点を取り合い、このセットも終盤まで競った戦いを繰り広げるも、粘り強いディフェンスから得点を重ねたJTがこのセットを奪い返す。第4セット、トヨタ車体は周田の連取、ダニエル、大川の攻撃で得点を重ね、テクニカルタイムアウトを6点リードで迎える。しかし粘るJTが西川、ロウの攻撃、タットダオのブロックで追い上げ、18-18と同点に追いつく。その後お互いに1点を取り合う試合展開となるも、最後は鳴原が攻撃を決めてフルセットに持ち込んだ。第5セット、トヨタ車体は周田が攻撃、ブロックで活躍し、第4セットの勢いそのまま良い形でスタートする。JTは和田の攻撃、タットダオのブロックポイントなどで1点差まで追い上げるが、最後はトヨタ車体の粘りが勝利を呼び込んだ。						

試合番号 : 329		試合会場 : 京都市体育館				観客数 : 620						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:09		試合時間 : 02:09		主審 : 慈眼 雅啓		副審 : 國頭 亮太				
埼玉上尾メディックス		通算	5勝	2敗	25	第1セット	22	日立Astemoリヴァーレ		通算	3勝	4敗
			ポイント : 16								ポイント : 9	
監督コメント	先週2連敗して自分たちの気持ちを奮い立たせられるように準備してきた。											
	日立Astemoのディフェンスが粘り強く、パワーヒッターが多いので、とても難しい試合になると思っていた。選手たちが気持ちを強く持って攻めてくれてくれたことが勝因だと思う。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もタフな試合になると思いますが、固結して戦いたいと思います。											
	本日温かいご声援ありがとうございました。先週の悔しい敗戦から切り替えて臨んだ大事な試合でしたが、自チームのミスが先行し敗れてしまいました。明日は一人一人の役割を確認しなおし、勝ちにいきたいと思います。そのためにもしっかりと準備します。明日もご声援よろしくお願致します。											
	第1セット、オクム大庭のライトからの攻撃で得点するもなかなか流れに乗れない日立Astemoリヴァーレに対し、目黒や仁井田が要所でスパイクを決めて得点を重ねた埼玉上尾メディックスがセットを先取した。											
	第2セットも堅いブロックで日立Astemoに思うような攻撃をさせず、粘り強く安定したレシーブからの多彩な攻撃で終始リードした埼玉上尾が連取した。第3セット、日立Astemoはスターティングメンバーを入れ替え、粘り強くボールを繋ぎ、長内やオクム大庭のスパイクで得点する。一方、埼玉上尾もサンティアゴの速攻やバリエーション豊かな攻撃で得点し、デュースまでもつれる熱戦となった。終盤相手のミスでリズムをつかみ日立Astemoが競り勝った。第4セットは岩崎のサービスエースを含む7連続得点で序盤の流れをつかんだ埼玉上尾が佐藤のスパイクで得点を重ね、粘る日立Astemoを振り切って勝利を収めた。ゲームを通して埼玉上尾の戦術的な準備が光った試合だった。											

試合番号 : 330		試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館				観客数 : 720						
開始時間 : 13:34		終了時間 : 14:56		試合時間 : 01:22		主審 : 戸川 太輔		副審 : 上村 英紀				
岡山シーガルズ		通算	2勝	3敗	25	第1セット	16	PFUブルーキャッツ		通算	1勝	6敗
			ポイント : 7								ポイント : 6	
監督コメント	波にのるとトップチームの力の攻めを持つPFU相手にチームのブロックを中心にディフェンスが機能した試合であった。日頃、練習している会場でのホームゲームでプレッシャーもある中、リラックスした雰囲気でも戦い抜けたことが勝因である。明日はリセットし、挑戦する気持ちを忘れず戦いたい。											
	朝夕、冬に近づく中、皆様を少しでもホットにできるよう精一杯頑張っていますので、引き続き、応援よろしくお願致します。本日はありがとうございました。											
	非常に残念な結果となりました。迷いなく戦えるように明日に向けて良い準備をしたいと思います。本日も応援して下さい皆様、ありがとうございました。											
	共に勝って上位進出への足がかりとしたい岡山シーガルズとPFUブルーキャッツの一戦。第1セット、序盤、岡山は岩崎の好レシーブや付の連続得点などでリズムを掴みリードを奪う。対するPFUもバルデスやアコスタの攻撃を中心に反撃するが、岡山は持ち味の粘り強いレシーブからの多彩な攻撃で得点を重ね、セットを先取した。											
	第2セット、序盤から岡山は佐伯や高柳、PFUはバルデスやアコスタを中心に得点し互角の展開となるが、中盤、岡山はタナッチャのサービスエースや佐伯のブロックなどでリードを奪う。PFUも渡邊のブロックやアコスタのアタックなどで反撃し、終盤まで接戦が続くが、岡山は中本や佐伯の活躍で競り合いを制し、このセットも奪った。第3セット、勢いに乗った岡山は序盤からタナッチャや付のブロックなどでリードを奪う。何とか流れを掴みたいPFUもジャンや志摩などの得点で反撃するが、岡山は中盤以降も高柳や佐伯を中心に得点を重ねこのセットも奪い、見事に地元のファンの前で勝利を飾った。											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント : -								ポイント : -	
監督コメント												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント : -								ポイント : -	
監督コメント												